

ダイバーシティに関する取組

バリュエンスグループは、グローバル市場における競争が激化する中、市場の多様なニーズに的確に対応し、新規ビジネスや付加価値の創造を継続的に行っていくためには、「組織としての多様性」が不可欠であると考えています。その一環として、以下のとおり「ダイバーシティポリシー」を策定し、様々な制度を設けております。

ダイバーシティポリシー

バリュエンスグループは、全ての社員が自分らしく仕事に取り組めるよう、人種、宗教、年齢、性別、国籍、障がい、性的指向、性自認等、あらゆる差別を禁止し人権を尊重します。職場において社員があらゆるハラスメントを受けることなく、更なる多様性を受け入れるしなやかな組織に向けた啓蒙活動を継続して行っています。

ダイバーシティに関する取組

女性活躍

女性が安心して働き続けられるための取組を推進しております。ライフイベント支援やキャリア形成支援の施策を通して、女性が活躍しやすい組織づくりに取り組んでおります。

育児・介護

在宅勤務制度や短時間勤務、時差勤務、育児・介護休業などを導入しており、育児・介護等を理由として勤務時間等に制限のある社員も活躍できる環境を整備しております。

デュアルキャリア

社員が仕事・自己投資をバランスよく行えるように、社外での副業はもちろんのこと、社内の複数部署を兼任して働く「社内複業」ができる環境を整備しております。

アスリート支援

仕事とスポーツ競技の両面で活躍している従業員が複数名在籍しており、本人の希望に沿って勤務場所や時間、業務量の調整を行っています。競技活動と業務を両立させながら、就業経験やスキルの習得を目指すことができる環境を整えております。

LGBTQ+

2018年5月に社内就業規則を改定して“配偶者”の概念を拡張し、異性・同性に関わらず出産祝金や弔慰金、特別休暇が取得できる制度に変更しております。今後もLGBTQ+の当事者が働きやすい職場環境・社会を目指し取組を進めます。

障がい者

身体障がい及び知的障がい、学習障がい等のハンディキャップを持つ人々も自分らしく活躍できる場を提供することを目的として障がい者の職域拡大と採用を推進しており、カスタマーサポートや管理部門といった様々な職種で障がいのある従業員が活躍しています。

今後も障がい者の職域開発及び採用を積極的に行うとともに、定期的に面談を実施し、働きやすい環境づくりに努めます。

グローバル

外国籍従業員が働く上での壁を取り除き、様々な人と垣根なく関わることのできる風土づくりを目的に、理念研修や主要な研修コンテンツを動画にし、日本語・英語併記（一部、中国語併記）で展開しております。また、経営陣から従業員へ社内イントラネットを通じて経営方針を送る際には、全ての従業員が理解を深めることができるように日本語、英語併記によるコミュニケーションを行っております。